



1 しんせつって なぁーに？

「小さな親切」運動の紙芝居

しんせつって なぁーに？

— 参加型紙芝居 —

脚本
解説

(社) 「小さな親切」運動本部

紙芝居による「心の教育」プロジェクト

みんなで「しんせつさん」になろう

絵

小松 咲子

演出ノート

「しんせつって なぁーに？」

(題名のみ読む)

ぬく

こあいさつ

みんなで「しんせつさん」になろう

(社) 「小さな親切」運動本部

「小さな親切」運動は、『できる親切はみんなでしよう。それが社会の習慣となるように』を合言葉に、親切な思いやりのあふれる社会をめざして活動しています。

その一環として、次代を担う子どもたちの心豊かな成長の一助になるよう、紙芝居による「心の教育」プロジェクトを立ち上げて、**「みんなで「しんせつさん」になろう」**を広める活動を行っています。

プロジェクトでは「小さな親切」作文コンクール入賞作品をもとに、「親切の心」「生命を大切にすること」「お互いに尊重し合う心」を育むよう、小学校用教材としても活用できるプログラム開発を行い、オリジナル紙芝居を三作品製作しました。

「しんせつって なぁーに？」は、「親切の心」を育む教材となっています。

「エレベーターのボタンを押す」という何気ない行為から、親切とは、相手を思いやる優しさがもたらした行動であることを分かりやすく伝えていきます。



2

しんせつって なあ～に？

演出ノート

ふしぎそうな
ようす

とも子ちゃんのおかあさんは、

走^{はし}ってくる人を見かけると、

笑顔^{えがよ}でいつもエレベーターの

へ開^{ひら}くボタンを押^おします。

とも子ちゃん
心の中

『どうして、おかあさんは

うれしそうなんだろう。』

—— ぬく ——



しんせつって なあ～に？

3

土曜日どようびの午後ごご、とも子ちゃんともこちゃんは、
おかあさんと近所きんじょのスーパーへ
お買い物おかいものに行きました。

エレベーターエレベーターに乗ったとも子ちゃんともこちゃんは、
おかあさんと入口いりぐちの横よこに立ちました。

荷物にものを持ったおじいさんが
乗ってきたので、

とも子ちゃんともこちゃんは、おかあさんに代わって、

「開くボタン」を押しました。

おじいさん「あゝ間に合った。

おじようちゃんおじようちゃんありがとね。」

とも子ちゃんともこちゃんはホッとして、

おかあさんを見あげました。

とも子ちゃんともこちゃんの
心の中『そっか、ドアを開けてあげると、
喜んでくれる人がいるんだ。』

演出ノート

うれしそうに



しんせつつて なあ～に？

エレベーターに次々と

人が乗ってきます。

乗るときは無言の人がほとんどです。

ある女の人が、（開くボタン）を

押し続けているとも子ちゃんに、

笑いかけながら乗ってきました。

とも子ちゃんもニコツと

笑顔になりました。



しんせつって なぁ～に？

エレベーターが動き出した時、
うしろから

男の人「三階お願いします。」

と声がありました。

とも子ちゃんは、

三階のボタンをポン！

男の人「ありがとう。」

男の人が降りました。

とも子ちゃんはすがすがしい

気持ちになりました。

——ぬく——

演出ノート

大きな声で



しんせつって なあ～に？

6

買い物が終って、

またエレベーターに乗りました。

今度はおかあさんが

入口の横に立ったので、

とも子ちゃんも、

乗る人や降りる人を

よく見ることにしました。

ちょうどドアが閉まりかけたとき、

中学生くらいのおねえさんが

ハアハア言いながら走ってきました。

おかあさんはあわてて、

「開くボタン」をポン。

中学生のおねえさん「すみません。」

おねえさんはお礼を

言ってくれました。

演出ノート

息をはずませた
ようすです



しんせつって なあ～に？

一階につきました。

おかあさんは、

みんなが降りるまで

〈開くボタン〉を

押し続けています。

「ありがとうございます。」

と言いながら降りる人や

軽くおじぎをしていく人、

何も言わずに降りてしまう人…

いろいろな人がいます。



8

しんせつって なぁ～に？

何も言わない人に、

とも子ちゃんは

ちよつとむつとしました。

とも子ちゃんの
心の中

『うーん、

おかあさんがせっかく

押してあげてるのに、

お礼も言わないなんて、

ひどいな。』

演出ノート

不満そうな声で



しんせつって なぁ～に？

とも子ちゃん

ちよっぴりふくれつつらのまま、

おかあさんに言いました。

とも子ちゃん「ねえねえ、「ありがとう」って

言う人もいたけど、

何も言わない人もいたよねえ。

いやな感じだね。

おかあさんも、そう思うでしょ。」

おかあさん「そんなことないわよ。

ボタンを押すのはいいけど、

むっとするのは

ホントのしんせつでは

ないんじゃない？」

演出ノート

不機嫌な
ように
話しかける

明るく、笑顔で
話しかける



しんせつって なぁ～に？

10

とも子ちゃんの
心の中 『みんなのためにエレベーターの

ドアを開けておいてあげたのに、

どうして私は

しんせつではないのかなあ？』

みなさんはどう思いますか？

とも子ちゃんはしんせつではないのでしょうか？

しんせつとはどのようなことだと思いますか？

みんなで話し合った結果を発表しましょう。



発表してから、紙芝居を続ける。



11

しんせつって なぁ～に？

とも子ちゃんは、

病院で看護師をしている

おかあさんの今までの姿を、

思い出しました。

とも子ちゃんの
心の中

開けてあげるだけじゃなく、

困っている人には、すぐ声をかけたり、

病气やけがをしている人、

元気な人にも、

おかあさんはだれにでもやさしくて、

いつも自然にしんせつをしている。』

演出ノート

思い出すように



しんせつって なぁ～に？

とも子ちゃんの『あつ！ そつかあ。
心の中

おかあさんはしんせつさんなんだ。

私は「ありがとう」と言われないと

むっとしちゃったけど。

ホントのしんせつは、

自然にするやさしさなんだ！』

とも子ちゃんはひらめきました。

ぬく

演出ノート

大発見を
元気のよう
うでに



しんせつって なぁ～に？

13

とも子ちゃん「ねえねえ、おかあさん、

とも子、ホントのしんせつって

何かわかったよ！

相手を大切に思う、やさしさでしょ。」

おかあさん「そうね。」

とも子はいいいところに気がついたわね。」

とも子ちゃん「しんせつさんをするおかあさんは、

いつも笑顔。そのヒミツもわかった。」

おかあさん「あら、すごい！ 教えて。」

とも子ちゃん「しんせつをすると、おかあさんの心が

あったかくなるんじゃない？」

おかあさん「ピンポーン。そうね。それだけでうれしいわ。」

とも子ちゃん「おかあさん、とも子、

これからはホントのしんせつさんになるね！」

むっとしていたとも子ちゃんの顔が、

いつの間にかニコニコ笑顔に変わりました。

演出ノート

元氣よく
話しかける

うれしそうに

元氣よく
はきはきと

おわり

ぬく